

設計業務委託料算定書

金抜設計書

1 業務名

令和7年度 穂高人権教育集会所解体工事 設計業務委託

2 委託期間

契約日 から 令和7年11月10日

3 業務概要

以下及び別添仕様書のとおり

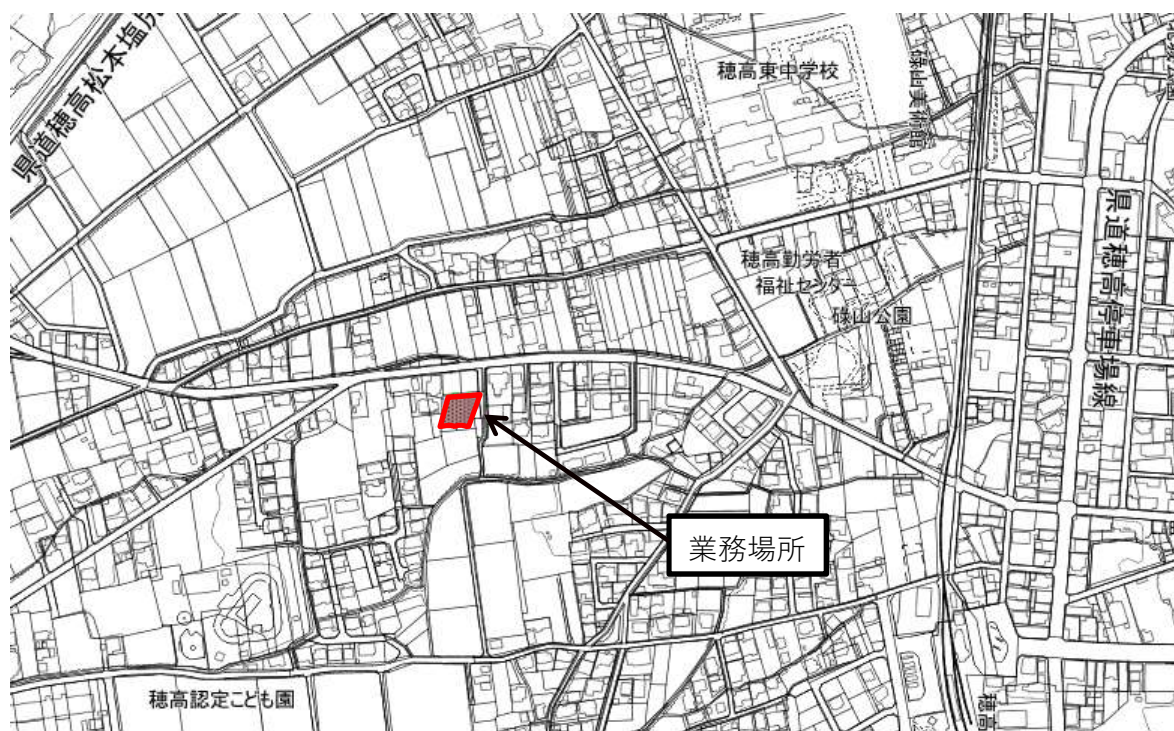
○ 追加業務

積算業務
工程表、現地調査、

内 訳 書

項 目	内 容	数 量	単 位	単 価 (円)	金 額	摘 要
1 直接人件費		1	式			
(Σ{(業務人・時間数)×(直接人件費単価)})						
※業務人・時間数=一般業務+追加業務						
2 諸経費		1	式			
3 技術等経費		1	式			
4 特別経費		±	式			
委託料計		1	式			
消費税相当額		1	式			
合 計						
※確認申請等手数料		±	式			

位置図
令和7年度 穂高人権教育集会所解体工事
設計業務委託



設計業務委託特記仕様書

I 業務概要

1. 業務名称 令和7年度 穂高人権教育集会所解体工事 設計業務委託
2. 履行期間 契約締結後 から 令和7年11月10日まで
3. 業務種別 ☐基本設計 ☒実施設計
4. 工事種別 ☐新築 ☐改築 ☐増築 ☐改修 ☐修繕 ☒解体
5. 施設概要

施設名称		穂高人権教育集会所			施設用途	人権教育集会所
敷地場所		穂高 5716 番地 1			敷地面積	858.00 m ²
用途地域		都市計画区域内 田園環境区域			防火地域	指定なし
概要 建物	建物名		構造	階数	建築面積	延べ面積
	穂高人権教育集会所		RC 造	2	-	324 m ²
設備概要	電気設備	☐ 受変電 ☐ 自家発電 ☐ 直流電源 ☐ 幹線 ☐ 電灯 ☐ 電話 ☐ 放送 ☐ 映像音響設備 ☐ インターホン ☐ 自火報設備 ☐ 太陽光発電 ☐ 風力発電設備 ☐ 凍結防止 ☐ 避雷 ☐ 時計 ☐ テレビ共同受信 ☐ 防犯 ☐ 接地 ☐ 非常用照明 ☐ 昇降機 ☐ 緊急報知設備 ☐ その他 ()				
	機械設備	☐ 熱源設備 ☐ 配管設備 ☐ 空調設備 ☐ ダクト設備 ☐ 換気 ☐ 中央監視 ☐ 暖房設備 ☐ 冷房設備 ☐ 給水 ☐ 給湯 ☐ 排水通気 ☐ 衛生器具 ☐ ガス ☐ 消火 ☐ 中水製造設備 ☐ 池ろ過循環設備 ☐ 厨房設備 ☐ その他 ()				
その他		☐ 造成 ☐ 外構（舗装、雨水排水等） ☐ 植栽 ☐ 囲障 ☐ その他（遊具・足洗場など）				

■印 委託業務対象

6. 設計条件

(1) 配慮事項

- ・コストと耐久性の両面から工夫しライフサイクルコストの提言が図れること。なお、建設コストは必ず予定工事費以下とすること。
- ・通期の週休2日制（4週8休以上の現場閉鎖）の工期・単価補正で工事金額を算出すること。
 ※市場単価、補正市場単価及び物価資料の掲載価格（市場単価以外の材工単価）の労務費の補正については、国土交通省大臣官房官庁営繕部計画課営繕積算企画調整室長通知「営繕工事における週休2日促進工事の実施に係る積算方法等の運用について（改定）」（令和6年3月22日付け国営積第13号）を準用する。
- ・解体工事に係る、周辺施設・近隣等への影響を考慮した設計を行うこと。
- ・解体に伴う、廃材の運搬について周辺環境へ配慮した設計を行う。

- ・同時に別発注している、アスベスト調査結果の内容を反映すること。
 - ・令和7年9月末までに概算工事費を算出すること。
- (2) 予定工事費 : ***** 千円 (工事内容により決定)
- (3) 予定工期 : 約4ヶ月
- (4) 設計概要
- ・穂高人権教育集会所の解体工事の実施設計一式。

II 業務仕様

本仕様書に記載されていない事項は、「公共建築設計業務委託共通仕様書」(最新版)による。

1. 管理技術者の資格要件

- (1) 管理技術者の資格要件は次による。

■建築士法による一級建築士

□建築士法による一級建築士又は二級建築士 (ただし二級建築士にあつては、建築士法第20条第5項に規定する建築設備に関する知識及び技能について国土交通大臣が定める資格を有する者とする。)

なお、管理技術者は、建築(意匠)の主任技術者を兼務してよいこととする。

2. 一般業務の範囲

一般業務及び追加業務の内容は令和6年 国土交通省告示第8号別添一第1項に掲げるものとし、範囲は下記による。

- (1) 基本設計業務の範囲

☐ 設計条件等の整理 (□条件整理 □設計条件の変更等の場合の協議)
☐ 法令上の諸条件の調査等 (□法令上の諸条件の調査 □建築確認申請に係る関係機関打合せ)
☐ 上下水道、ガス、電力、通信等の供給状況調査、打合せ
☐ 基本設計方針の策定等 (□総合検討 □基本設計方針の策定及び建築主への説明)
☐ 基本設計図書の作成
☐ 概算工事費の検討
☐ 基本設計内容の建築主への説明等

■印 委託業務対象

- (2) 実施設計業務の範囲

■要求の確認 (■建築主の要求等の確認 ■設計条件の変更等の場合の協議)
■法令上の諸条件調査等 (■法令上の諸条件の調査 □建築確認申請に係る関係機関打合せ)
■実施設計方針の策定 (■総合検討 ■実施設計のための基本事項の確定 ■実施設計方針の策定及び建築主への説明)
■実施設計図書の作成等 (■実施設計図書の作成 □建築確認申請図書の作成)
☐ 概算工事費の検討
■実施設計内容の建築主への説明等

■印 委託業務対象

3. 追加設計業務内容等

■積算業務

【 ■数量算出書作成 ■単価資料作成 ■見積徴収 ■検討資料作成 】

- ☐透視図の作成（※判の大きさ（A3）、枚数（2枚・2カット）、額の有無（有）、）
- ☐模型の作成（※縮尺（ ）、主要材料（ ）、ケースの有無（ ））
- ☐確認申請手続業務（※申請書類、図面等の作成共）・・・（仮使用承認申請手続業務含む）
- ☐関係法令等に基づく各種申請手続業務（※申請書類、図面等の作成共）

【 ☐開発許可申請（都計法 60 条） ☐バリアフリー法 ☐省エネ法 ☐景観法
☐河川法 ■その他（県・市町村条例等に基づく申請） 】

※各種申請において、申請手数料を要する場合の費用は発注者の負担とする。

■その他の業務

- 概略工事工程表の作成 ☐リサイクル計画書の作成 ☐防災計画に関する書類作成
- ☐広報ポスターの作成 ☐構内情報通信網設備に係る検討
- ☐雨水・排水利用設備に係る検討

■印 委託業務対象

4. 業務の実施

- （1）基本設計業務は、提示された設計と条件及び適用基準等に基づき行う。
- （2）実施設計業務は、提示された設計と条件、基本設計図書及び適用基準等に基づき行う。
- （3）積算業務は、監督員の承諾を受けた実施設計図書及び適用基準等に基づき行う。
- （4）監督員の指示により、「設計説明書」に必要な事項を記入のうえ、関連する資料とともに提出する。

Ⅲ 設計基本方針

敷地及び配置計画について	○日照・通風の確保、騒音・振動の抑制並びに周辺道路の交通障害等を考慮し、周辺環境と調和した計画とする。 ○既存樹木の活用と修景緑化、駐車場の適正確保と歩車道の分離並びに積雪寒冷地における雪及び凍害対策を考慮した計画とする。 ○景観法等に基づく「安曇野市景観計画」に沿い、周辺の景観に配慮し地域景観の形成を図る。
建物計画について	○公共施設としての特性を踏まえ、耐震性能の確保並びに出水、火災等に対する安全対策を考慮した計画とする。 ○身体障害者、高齢者等の施設利用を考慮し、「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律」並びに「長野県福祉のまちづくり条例」の基準に適合するように計画する。 ○敷地の環境条件、用途、規模等を総合的に考慮し、「エネルギーの使用の合理化に関する法律」の基準に準拠し、省エネルギー化を図る計画とする。 ○快適な室内環境を確保するため、色彩及び使用材料の適正な選択、換気、通風及び採光の確保、結露防止及び断熱化を図る等、適切に計画する。 ○保全義務が効果的に行われるよう、耐久性及び耐汚染性の高い仕上げ材料の選定等、容易に維持管理が行えるよう配慮した計画とする。 ○空調設備は再生可能エネルギーの採用、中間期の負荷の低減、ランニングコストの低減、良好な室内環境の配慮等の検討を行う。 ○「安曇野市の公共建築物・公共土木工事等における地域材利用方針」に基づき、建築物の木質化、家具等の木質化に努める。 ○空調設備を計画する際は、空調負荷計算を行いその結果を提出すること。
その他	○建設コスト及びライフサイクルコストの低減化を考慮する。 ○産業廃棄物については、リサイクル法、産業廃棄物処理法を考慮し、分別解体を徹底し、再資源化又は再利用化を図る。 ○工事騒音・振動の抑制、搬出入車両の事故の防止・道路環境保全、落下物等に対する養生、解体工事における崩落対策等を考慮する。 ○解体建物に特別管理産業廃棄物が使用されている場合については、法令等により適正な処分を行うように計画する。

IV 設計業務要領

一般事項	○設計は関係法令に適合すること。 ○予定工事費を超過しないよう設計すること。 ○工法、名称、品質区分等は「VI適用基準等」及び「建築学会基準」によるものとし、必要に応じその旨を表示すること。 ○使用材料の品質は、できる限り J I S 規格及び J A S 規格に統一し、特殊な使用材料は監督員と協議すること。 ○実施設計にあたり、必要に応じてワークショップ等により保護者・住民等の意見を聞く機会を設け、住民意見を反映した計画に努めること。
資料の貸与	○貸与できる資料は以下のとおりとする。なお、貸与した資料については、取り扱いに注意するとともに、借用書を提出し確実に返却すること。 ＜貸与資料＞既存建築物設計図（平面・仕上げ表 青焼きのみ） ＜貸与場所＞安曇野市
仮設計画	○施設利用者動線、障害物、道路幅員、交通規制、通路（重機搬入・長大物搬入）等を十分調査し、監督員と協議の上、適切な仮設計画をたてること。
意匠	○仕上げ材料は、使用形態を把握し、適切な材料を選定すること。 ○家具等の詳細は、監督員と協議すること。
設備工事関連	○設計にあたり、くい違い、取合い部の不合理が生じないよう十分協議すること。 ○電気・機械設備機器等は平面図に破線で表示し、重複しないよう考慮すること。 ○電気・機械設備のための開口部補強は建築工事に含めること。 ○分割発注が想定される場合は、工事区分表を作成し、工事分担を明確にすること。
単価	○見積りは、製造業者・専門工事業者 3 者以上とし、比較表を作成すること。 ○内訳書に単価根拠を明示すること。 ○単価採用の順位等については下記による。 1. 刊行物に掲載の市場単価 2. 公共建築工事標準単価積算基準による標準単価 3. 刊行物による「材工共」単価 4. 見積書による単価
設計書様式等	○工事名、各部の名称は監督員の指示による。 ○申請書関係図面については、必要最小枚数とし、A 4 版左綴じとすること。
契約関係等	○設計の一部を外部委託する場合は、委託契約書を締結し、契約書の写しを提出すること。 なお建築設備（電気・機械）の技術者は、以下のいずれかに該当するものとする。 ・ 設備設計一級建築士 ・ 建築設備士の資格を有し、設計業務に 5 年以上の経験を有する者 ・ 一級電気工事施工管理技士、一級管工事施工管理技士または技術士の資格を有し、設計業務に 5 年以上の経験を有する者 ・ 電気設備工事、機械設備工事の設計業務に 10 年以上の経験を有する者 ○上記技術者については、安曇野市建設部門入札参加資格者名簿（市内）に掲載されている業社の社員及び関係者以外の者とする。
著作権	○当該設計に係る著作権は、安曇野市に帰属すること。
その他	○受注者は、契約書の規定に基づき、業務の過程により知り得た内容について第三者に漏らしてはならない。 ○設計調査等で施設に行く際は、事前に連絡を取り了解を得て施設に立ち入ること。

V 提出図面

	内 容 （縮尺）	摘 要
建築意匠図等	■特記仕様書 ■配置図・案内図 (1/100～1/1000) ■面積表及び求積図 ■仕上げ表 □工事区分表 □関係法令等検討表 ■平面図 (1/50～1/100)	○特記仕様書は市の仕様書を使用する。 ○縮尺は、左表を標準とするが、これにより難しい場合は監督員と協議する。 ○仮設計画面図については、指定仮設について記載のこと。

	■立面図 (1/50～1/100) □断面図 (1/100～1/200) □断面詳細図 (1/20～1/50) □一般詳細図 (1/20～1/50) □平面詳細図 (1/20～1/50) □展開図 (1/20～1/50) □部分詳細図 (1/10～1/30) □建具キープラン (1/100～1/200) □建具リスト (1/20～1/50) ■屋根・天井伏図 (1/100～1/200) □日影図 (1/500～1/1000) ■仮設計画図 (1/100～1/1000) □外構図 (1/100～1/1000) □解体図 (1/100～1/1000)	
建築構造図	□特記仕様書 □基礎伏図 (1/50～1/200) □基礎配筋図 (1/20～1/50) □床伏、小屋伏図 (1/50～1/200) □軸組図 (1/50～1/200) □各部断面図 (1/50～1/200) □標準詳細図 (1/10～1/50) □各部詳細図 (1/10～1/50)	○特記仕様書の書式は監督員と協議のこと。 ○縮尺は、左表を標準とするが、これにより難しい場合は監督員と協議する。
設備関係図	□特記仕様書 □工事区分表 □配置図・案内図 (1/100～1/500) ■平面図 (1/50～1/200) □詳細図 (1/20～1/50) □設備機器表	○特記仕様書は市の仕様書を使用する。 ○縮尺は、左表を標準とするが、これにより難しい場合は監督員と協議する。

■印 委託業務対象

VI 適用基準等

1. 国土交通省（旧建設省）大臣官房官庁営繕部監修

【標準仕様書】

- 公共建築工事標準仕様書（建築工事編、電気設備工事編、機械設備工事編）
- 公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編、電気設備工事編、機械設備工事編）
- 公共建築木造工事標準仕様書
- 建築物解体工事共通仕様書
- 公共建築設備工事標準図（電気設備工事編、機械設備工事編）

【設計】

- ・建築設計
 - 建築設計基準
 - 建築構造設計基準
 - 構内舗装・排水設計基準
 - 建築工事標準詳細図
- ・設備設計
 - 建築設備計画基準
 - 建築設備設計基準
 - 雨水利用・排水再利用設備計画基準
- ・木造設計

○木造計画・設計基準

【工事費積算】

- 公共建築工事積算基準
- 公共建築工事標準単価積算基準
- 公共建築数量積算基準
- 公共建築設備数量積算基準

【性能】

- 官庁施設の基本的性能基準
- 官庁施設のユニバーサルデザインに関する基準
- 官庁施設の総合耐震・津波計画基準

【図書】

- 建築工事設計図書作成基準
- 建築設備工事設計図書作成基準

2. その他基準等

- 児童福祉施設最低基準（厚生省令第 63 号 昭和 23 年 12 月 29 日）
- 遊泳用プールの衛生基準（厚生労働省健康局長通知 平成 13 年 7 月 24 日）

VII 提出書類

1. 着手時

名称	部数	摘 要
技術者等の通知書（様式 1）	1	・ 恒常的な雇用関係を有する者であることがわかる書類の写し
技術者経歴書（様式 2）	1	・ 設計業務に係る実績
業務工程表（工程表）（様式 3）	1	・ 業務計画書（業務概要、業務方針、設計工程表、管理体制及
業務計画書（様式 4）	1	び連絡体制）
業務委託承諾願（様式 5）	1	・ 業務を再委託する場合、契約書の写しも添付

2. 完了時

名称	部数	摘 要
■完了届	1	A4版
■引渡書	1	A4版
□現場説明書	協議	A4版
□設計図 製本	1	A1版
□設計図 製本	1	A3版
■設計図 ファイル綴じ	1	A3版
■同上(CAD) CD	1	JWC・JWW 変換可能ソフト使用（記名あり、なし、）
■同上(PDF) CD	1	記名あり、なし
□構造計算書(軸組計算書)	1	A4版 ファイル綴
■設備計算書	1	A4版 ファイル綴
■工事費内訳書(金入り)	1	A4版 ファイル綴
■同上 CD	1	使用ソフトデータファイル及びPDF形式
■数量算出書	1	A4版 ファイル綴 使用ソフトデータファイル
■単価算出書	1	A4版 ファイル綴(単価に関する資料含む)使用ソフトデータファイル
■見積書・見積検討書	1	A4版 ファイル綴(単価に関する資料含む)
□確認申請書 ※確認済証共	1	A4版 ファイル綴(消防関係書類含む)
□建築許可申請書 ※許可済証共	1	A4版 ファイル綴(消防関係書類含む)
□省エネ計画書	1	A4版 ファイル綴
□模型	1	縮尺 1:300(簡易模型 精密模型)
□透視図	1	CGパース (額共)
■各種技術資料等	1	A4版 ファイル綴

■その他追加業務関係書類	協議	
■打合(指示・協議)書	1	A4版 ファイル綴
※製本及びファイルについては、表紙・背表紙にタイトルを入れる。		

■印 委託業務対象

3. 成果品の取扱い

提出された電子データについては、当該施設にかかる工事受注者は無償で貸与し、当該工事における施工図の作成、当該施設完成図の作成及び完成後の維持管理に使用する。

4. 成果品の提出場所

安曇野市 総務部 財産管理課 施設経営担当

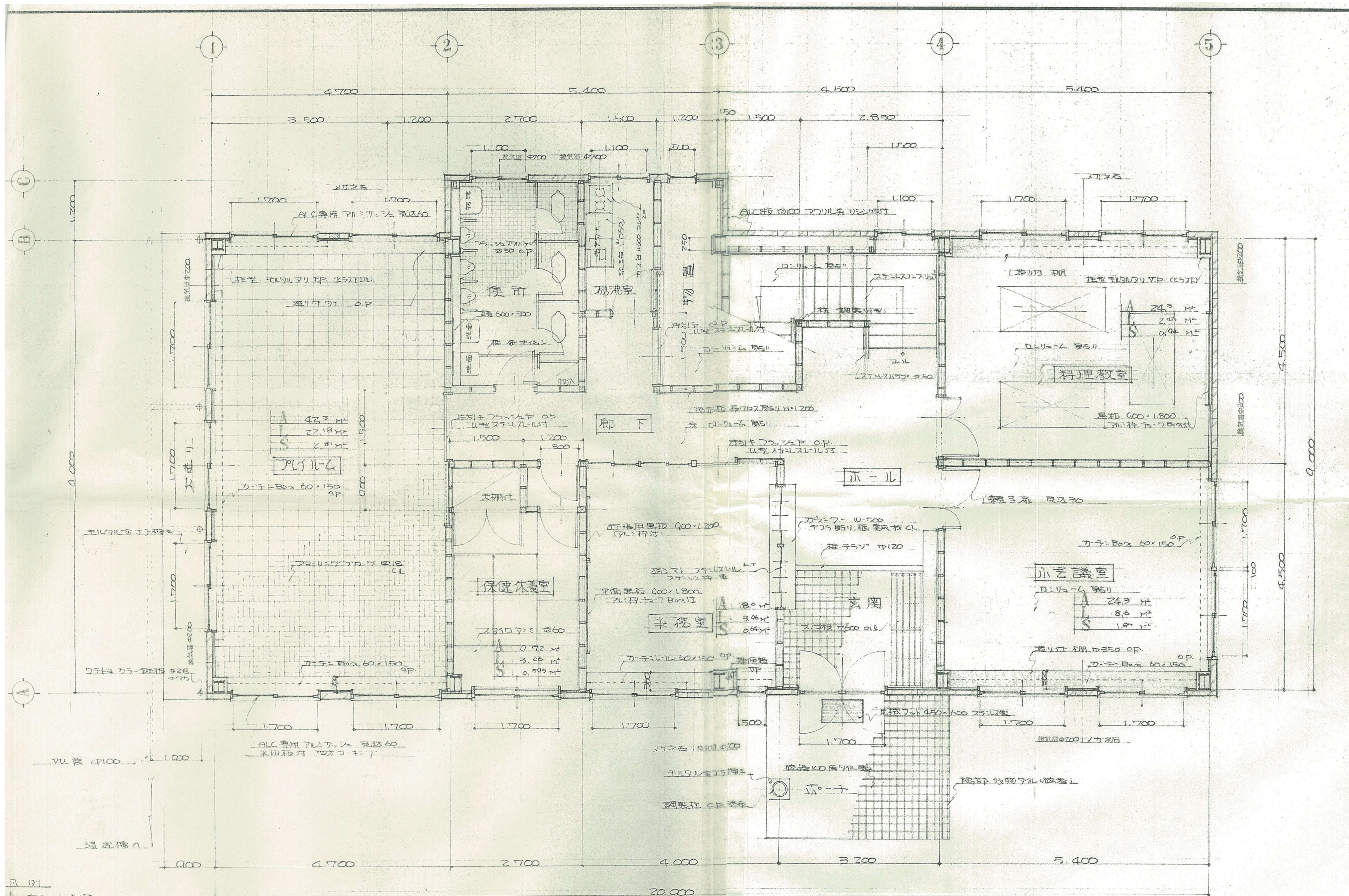
根 本	ル・フテ、千 量キ ①0.8 mm 片面断熱材付 200/15.300 50配 軒先セ粒フル、軒先面下永シ×面下取付 タテフル 1800A
壁 礎	軽天、Kラス下地 モルタル刮毛付 アクリル系シン吹付
壁 礎	ALC片取 ①100 フチ等張り、東面 ①100 mm 化粧土付板付張り (-部平板 ①100) シーラ処理付施工、東南北面 自地理×カセ 自地切 (新積) アクリル系シン吹付
基礎 堅 礎	加重基礎コンクリート $F_c = 210 \text{ kg/cm}^2$ 、布基礎 $F_c = 180 \text{ kg/cm}^2$ 、工間コンクリート $F_c = 150 \text{ kg/cm}^2$ 配(合設計書提出 (神正値決定)、オ、4週5年度試験を行う (必ずは現場差主注)
基礎 堅 礎	重引ヨ、ハランタ部 R-2.3 曲カエ 150×120、一般 R-1.6 150×150 各OP塗布 2面、タテヨ カラー鉄板 28 ㎡ ①75 主側部 銅製鎖
基礎 堅 礎	ハランタ部 2階サ (大会議室) 木敷 150×36 0.8、セ×面 R-2.3 桧材 ①22 600A OP塗布
基礎 堅 礎	R-1.2 曲カエ (玄関ホ-テ底部分ハ R-1.6) 各OP塗布 2-面7処理
外部 建具	ALC用アルミサッシ 両込 60 硝子-般 ①5.0ト×5硝子、一部 ①3.0ト×5硝子、①4.5硝子硝子、一部 アルミサッシ 両込100 使用 (主側)
コ-キ-ワ 材	JIS規格品 (ナショナル系)
雨押工、米切 地	カラー鉄板 29 ㎡
ドレン	鋳鉄製 フルメ付 ①80 mm (ホリ蓄材 3.0同等品以上)
ラング	床: コンクリート 均シモルタル下地 コムシト系防水層 ①2.0 10年間敷設工 (請負者、施工者連帯保証) 立上リコ-キ-ワ処理
ボーテ	屋根面: 上記ニ準スル 床: 磁器 100 角タイル張り 天井: アルミフタントレ張り (軽天下地)

室名	床	巾木・腰壁	壁	天井	備考
事務室	コンクリート 貼り	ソフト巾木 100	ワロス 貼り (C=IL系) F地 耐火ボード ⑨	シフトン 張り 拵板 ⑤55	2.500 窓下造り付棚, 黒板 900x1800 行幸黒板 900x1200
小会議室	同上	同上	同上	同上	2.750
料理教室	同上	同上	ラスモルル金コテ押エ EP	同上	2.750 黒板 900x1800
保健休養室	スタクロファミ ⑥60 縁付	ファミ寄セ 60	シムラワサテン吹付 F地 耐火ボード ⑨	杉板目プリント耐火ボード 目カシ ⑥20	2.400 押入付
プレイールム	ワロシリ=7.フクロフ張りLL 名板 ⑥15mm	ソフト巾木 100	ワロス 貼り (C=IL系) 全 上	シフトン 張り 拵板 ⑤55	2.600 窓下造り付棚
湯沸室	コンクリート 貼り	モルル目地切 100	ラスモルル金コテ押エ EP	耐火ボード ⑨ EP	2.400 流し台, コーヒー, コーロ, 吊アタリ
便所	磁器タイル 貼り 50x50	磁器タイル 100 1200	モルル下地 フラスター 金コテ押エ	耐水合板 拵種 ④ OP	2.400 フラッシュ, スプリング, 踏込 (拵 1人分)
物置	コンクリート 貼り		ラワン合板 ⑥55mm オ-種	ラワン合板 ⑥4° オ-種	2.500
押入	構造用合板 ⑥9	雑布摺	ラワン合板 ⑥4°	同上	2.250 中殺, 天棚
踏込	コンクリート 貼り	ソフト巾木 100	ワロス 貼り (C=IL系) F地 耐火ボード ⑨	耐火ボード ⑨ EP	2.400 下駄箱, スノコ板
玄関	磁器 100角タイル 貼り	110x110 200 300	全 上	シフトン 張り 拵板 ⑤55	2.700 2.800
ホール	コンクリート 貼り	ソフト巾木 100	全 上	同上	2.500
廊下	同上	同上	同上	同上	2.500
階段	同上	同上	同上	同上	手摺 鋼管OP
大会議室	スタクロファミ ⑥60 縁付	ファミ寄セ 60	シムラワサテン吹付 F地 耐火ボード ⑨	杉板目耐火ボード 目カシ	2.650 赤め回, 押入付
図書室兼学習室	コンクリート 貼り	ソフト巾木 100	ワロス 貼り	シフトン 貼り 拵板 ⑤55	2.700 窓下造り付棚
湯沸室	同上	モルル目地切 100	モルル金コテ押エ EP	耐火ボード ⑨ EP	2.400 流し台, コーヒー, コーロ, 吊アタリ
踏込	同上 一部踏板 敷板LL	木巾木 120	シムラワサテン吹付 F地 耐火ボード ⑨	ヨシワロ 貼り F地 耐火ボード ⑨ (板厚 22mm)	2.400 スリット入レ
手洗い	同上	磁器タイル 100 800 500	フラスター 金コテ押エ	耐水合板 ⑥4° OP	2.400
便所	同上	同上	同上	同上	2.400
物入	同上		ラワン合板 ⑥55mm オ-種	ラワン合板 ⑥4° オ-種	2.500 棚 2重 3段
				*	

金工工事、建築工事、仕様書別図に示す。
鉄部表の一部分 全付防錆処理品(工場外)にOPを印塗布スル。
塗装 OPを印 ERを印し下地処理材を分ける事。アクリル系リシン吹付けムラナク分岐点で吹付け事。(得意)
二階天井等 断熱材 厚100mm スキ直上は分岐点、事。(グラスウール系断熱材一面面アレバ可?)
食物類等 フォenix製用基本スル。ヌル品もラ提手、と承認ラ受付事。工面コナリ下ホリエレンシ打止。Qa=

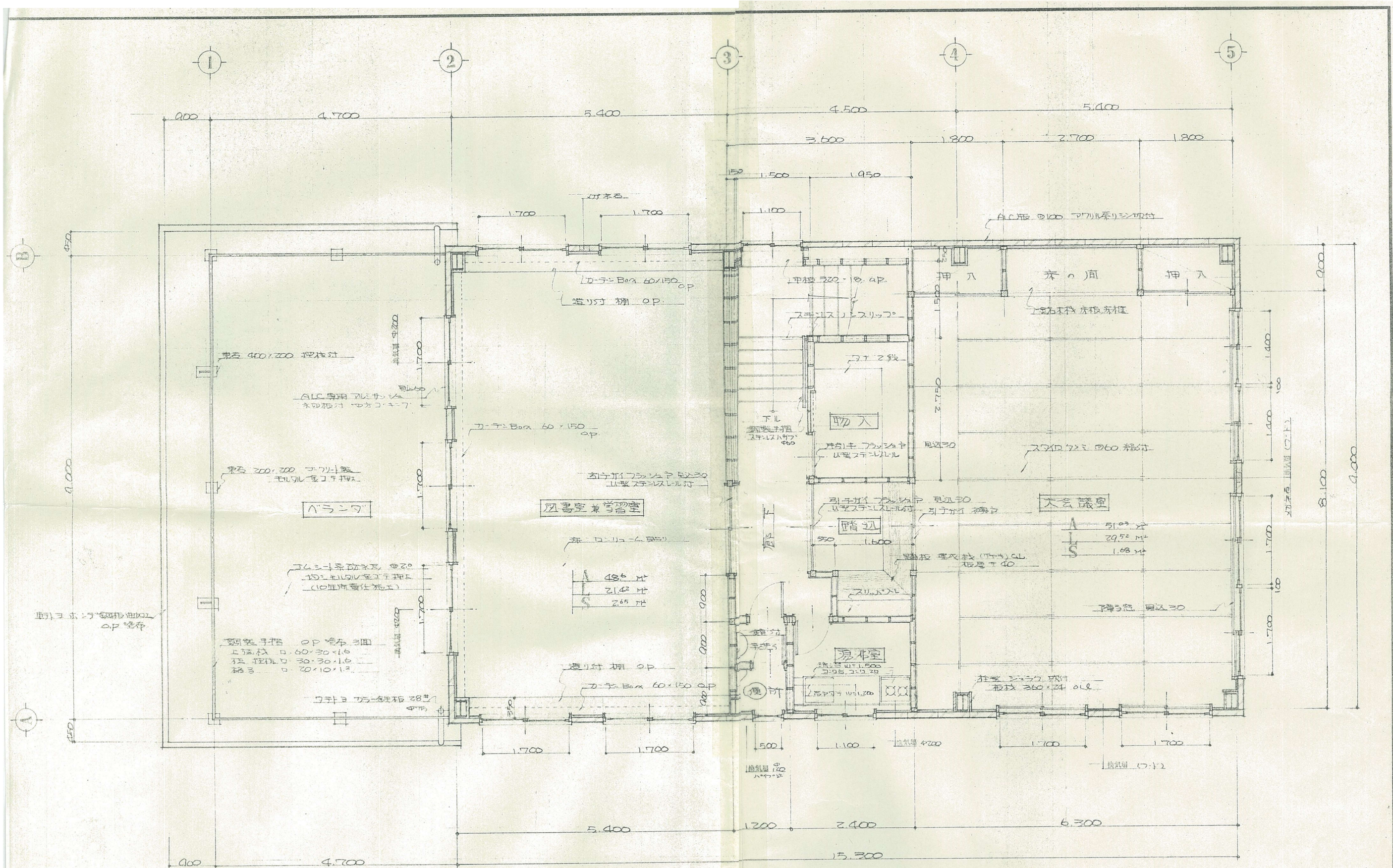
① 扇風機等、圧入等 (T型はT向きのスチール製スル) 南北面を各2枚、正面を2枚、計4枚。

- ・2階床板: ALC板 @120 MM
- ・料理散水用 机ハ設備工事トモ又採光筋ハ電気工事トモ、内両初排水ハ建築工事トモ。
- ・工事=行ハ者官庁ハ申請ハ諸届者ハ達=行イ支障ナキ様=スル事、費用ハ全テ諸室者ハ負担トモ。
- ・施工期ハ提出、承認後施工事 又施工写真集ハ提出、事
- ・若批准、係員セウ合イ基テ行イ事前ハ義務コスル事。



1 階平面図 S=1/50

凡例
 A 室内床面積
 L 採光有効面積
 S 排煙有効面積



A 室内床面積
 L 床面積
 S 排煙有効面積

2階平面図 S=1/50